

火打山周辺ライチョウ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 上越森林管理署
所在地	新潟県糸魚川市・妙高市
面積	826.74ha
設定年	平成21年（設定）、平成30年（名称変更）
保護林の概要 （設定目的）	裏金山～焼山～影火打～火打山～雷鳥平に連なる稜線で、ハイマツ及び妙高山連峰高山植物地帯（高山荒原雪田群落）を保全し、ライチョウ及びその生息環境を保護するため設定した。



保護林内の状況



雪田草原（イワイチョウ群落）

モニタリング調査概要

実施年度	平成26年、平成31年、令和6年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査（樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等）、動物調査（鳥類）、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、ライチョウが好んで利用する丈の低いハイマツ、その周辺の矮性低木が優占する風衝地において調査プロットを合計12箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に1つの調査ルートを設定し、保護林内における出現種を把握した。
結果概要	植生調査地点全体としては前回から大きな変化はみられないものの、一部地点では火打山のライチョウの主要な採食植物であるコケモモやベニバナイチゴなどが減少するといった変化がみられており、調査地点以外でも同様の状況である可能性が高く、ライチョウの生息環境の悪化が懸念された。また、ミヤマハンノキの実も主要な採食植物として考えられるため、ミヤマハンノキ群落の分布状況についての調査を実施することも検討することが望ましい。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。